

国立療養所長島愛生園
2022（令和4）年度
悉皆調査報告書
概要版

2023（令和5）年6月
特定非営利活動法人
ハンセン病療養所世界遺産登録推進協議会



例 言

- 一、本書は、国立療養所長島愛生園「保存活用ビジョン-2030年 開園100周年を目指して-」（2022（令和4）年5月策定）115ページ以降で示した長島愛生園悉皆調査の結果の報告である。当該調査は2023（令和5）年度以降も継続し、本書を更新する形で報告する。
- 一、2022（令和4）年度中の当該調査及び本書の取りまとめは、主にNPO事務局が実施した。
- 一、本書の著作権は、NPOに帰属するため無断転載を禁ずる。

目 次

I 調査概要

- 1. 目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.75
- 2. 方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.75
- 3. 現地調査の内容・・・・・・・・・・・・・・・・ p.76

II 国立療養所長島愛生園 昭和6（1931）年園内建物等の配置及び写真一覧

- 1. 国立療養所長島愛生園 建物配置図（昭和六年）・・・・・・本書別紙②
- 2. 建物配置図（昭和六年）記載の建物古写真一覧・・・・・・ p.79

III 国立療養所長島愛生園 悉皆調査

- 1. エリア図（略）
- 2. 一次調査成果図（本書別紙①）
- 3. 二次調査（エリア別調査）報告・・・・・・・・ p.93
 - 3-1. 配水池エリア（略）
 - 3-2. 南官舎（船越駐車場を含む）エリア（略）
 - 3-3. 北官舎（船越橋を含む）・インフラ施設エリア（略）
 - 3-4. 内白間エリア・・・・・・・・ p.93
 - 3-5. 納骨堂・平成公園（火葬場跡）エリア・・・・・・未実施
 - 3-6. 病棟・センター・一般舎・インフラ施設エリア・・・・未実施
 - 3-7. 宗教会堂エリア・・・・・・・・・・・・未実施
 - 3-8. 光ヶ丘エリア・・・・・・・・・・・・未実施
 - 3-9. 一般舎（曙団地・望ヶ丘団地）エリア・・・・・・未実施
 - 3-10. 新良田エリア・・・・・・・・・・・・未実施
 - 3-11. 農園跡エリア・・・・・・・・・・・・未実施
 - 3-12. 相愛エリア・・・・・・・・・・・・未実施
 - 3-13. 邑久長島大橋エリア・・・・・・・・・・（略）
 - 3-14. その他陸地エリア・・・・・・・・・・・・未実施
 - 3-15. 周辺海域エリア・・・・・・・・・・・・未実施

IV 別紙資料

- 1. 国立療養所長島愛生園 悉皆調査総括表（略）
- 2. 国立療養所長島愛生園 国指定史跡を検討する上で重要性の高い要素（建造物）一覧（本書別紙③）
- 3. 国立療養所長島愛生園 保存活用ビジョン 短・中・長スケジュール（本書24ページ）
- 4. ドローンによる空撮（概要版を本法人YouTubeで公開中）

<https://www.youtube.com/watch?v=eEx0QzYhPXI>



I 調査概要

1. 目的

国立療養所長島愛生園における悉皆調査は、国指定史跡の意見具申を行う際に必要な書類（報告書等）の作成に向けた基礎資料を取りまとめることを目的とする。

世界遺産条約第4条は、締約国に対して自らの資産に最善を尽くして保護する義務を課している。日本はこの義務を履行すべく、文化遺産については登録・推薦資産が文化財保護法の重要文化財、史跡、重要文化的景観に指定又は選定されていることを原則としている。

本法人は、2019（平成31）年3月に「世界遺産登録に向けたロードマップ」を策定した当初から「長島のハンセン病療養所群」（仮）の資産特性に鑑み、長島を国指定史跡（文化財保護法第109条）として保護するのが最適であると考えた。

国指定史跡に向けた手続きは、資産が所在する地方公共団体（本件では、岡山県及び瀬戸内市）が国（文化庁）にその資産の価値を意見具申することを始点とする。

2020（令和2）年10月、文化財調査官（史跡部門）による国立療養所長島愛生園視察が行われ、意見具申の際には対象史跡の歴史的・学術的な価値を取りまとめた書類（報告書等）を専門家を含めた協議を経て作成する必要があるとの助言を得た。

本法人ロードマップ委員会が2022（令和4）年5月に策定し、長島愛生園に提案・提出した「国立療養所長島愛生園保存活用ビジョン-2030年 開園100年を目指して-」は、その115ページ以降にて「国指定史跡のための導入的な調査手法」としての悉皆調査を提案した。

本書は、当該提案に基づき本法人事務局が2022（令和4）年度に実施した長島愛生園悉皆調査の結果を報告するものである。

2. 方法

①現地調査

国立療養所長島愛生園内の地上に現存する建造物、工作物、遺構、遺物、地形、インフラ施設、植生、景観等、視覚で捉えることが可能なあらゆる有形物・無形事象を記録した。調査内容は、3.のとおりである。

②文献調査

①で把握した有形物・無形事象の生成から現在に至る履歴を、文書資料や写真資料、動画入所者による聞き取りにより調査した。

③ドローンによる空撮

④取りまとめ

①及び②の結果を、「史跡の諸要素体系図」（本書78ページ）に沿って現状写真とともに本書98ページ以降のとおり取りまとめた。その際、既存の国指定史跡の保存と整備を目的とした「史跡の諸要素体系図」に、現在もハンセン病療養所として運営されている長島愛生園の現状を当てはめることは困難であるため、本件独自の要素として「Ⅲ. 療養所運営に必要な諸要素」を設け、インフラ施設等を当該要素に区分することとした。もっとも、これら全ての諸要素は本法人事務局長が仮に区分したものであることに留意されたい。

調査結果は、関係者が容易に検索できるよう別途「総括表」（MS-Excel）にも取りまとめつつ、諸要素の所在地、本書別紙①や③の形式にMS-PowerPointでマッピングすることで、長島愛生園の現状の可視化と関係者間での情報共有を容易にすることを目指した。

⑤発掘調査

②の文献資料が十分に保存されているという前提で、当面、発掘調査は予定しない。

3. 現地調査の内容

本法人事務局の限られた人員で効率的に実施すべく、以下の方針に基づき調査を実施した。

①調査範囲

史跡として想定する範囲案中、最も狭い（案3）（本書23ページ）を現地調査の範囲とした。更に、当該調査範囲を14エリア（本書74ページ）に分け、容易な情報整理と管理、及び関係者が見やすい取りまとめを心掛けた。

調査範囲及び14エリアの分けとそれらの名称は、本件現地調査の円滑な実施のために設定したものである。調査範囲が国指定史跡としての適切な範囲か、分けとそれらの名称が長島愛生園の歴史と学術上の価値を適切に示しているか等については、今後、議論が必要である点に留意されたい。

②一次調査と二次調査

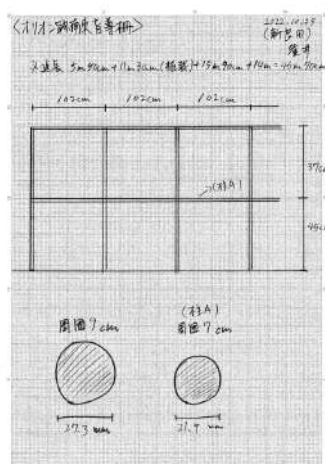
長島愛生園の調査範囲を14エリアに区分けしても、なお、それら個々のエリアにおいて確認できる建造物、工作物、遺構、遺物、地形、インフラ施設、植生、景観等の数は非常に多い。

そこで、一次調査として長島愛生園内に共通して存在する有形物を調査・取りまとめ、二次調査として個々のエリアの詳細な現状を調査・取りまとめた。

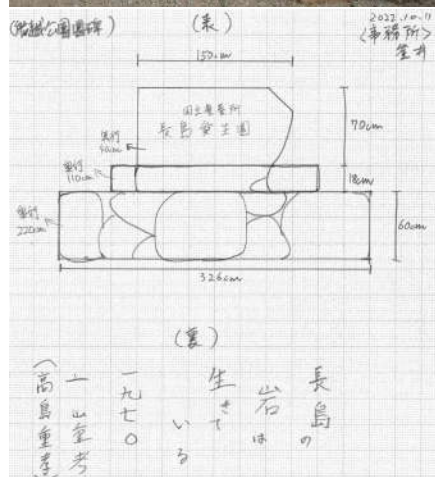
3-1. 一次調査

長島愛生園の調査範囲に存在する、盲導柵、石造物、盲導ラジオ、石積擁壁・階段、未舗装道路、遺物、テレビ・携帯電話塔、小規模家屋、東屋を調査し、本書別紙①のとおりマッピングした。盲導柵、石造物に対してはスケールを用いた簡易な測量を行い、手書き図面にこれらの情報を記載した。

2022（令和4）年度一次調査未実施エリアは、「病棟・センター・一般舎・インフラ施設エリア」に属する日出地区、農園跡エリア及びその他陸地エリアである。



盲導柵



石造物



盲導ラジオ



石積擁壁



未舗装道路



テレビ・携帯電話塔



遺物



小規模家屋

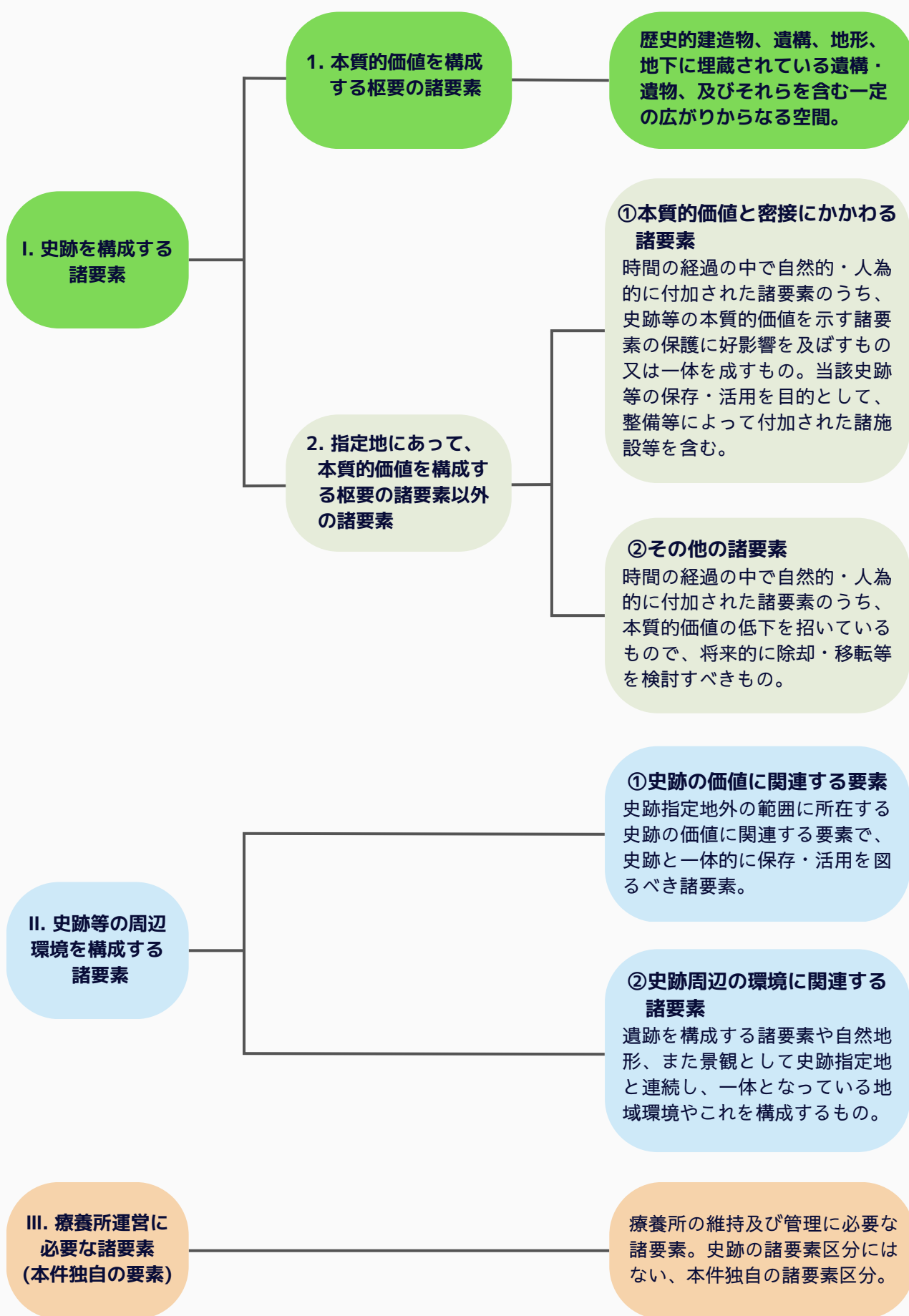
3-2. 二次調査

長島愛生園の調査範囲を14に区分けした個々のエリアを、一次調査で収集した情報を確認しつつ建造物、付属建物、植栽を調査し、本書94ページのとおり一次調査の情報も反映させてエリア図としてマッピングした。マッピングの際には、建造物及び付属建物にエリア毎の建物番号を付設した。

個々のエリアの詳細な情報は、それらに存在する構成要素を「史跡の諸要素体系図」（本書78ページ）にしたがって現状写真とともに整理した。紙幅の都合上、本書では「内白間エリア」一部の整理例を93ページ以降に記載した。

2022（令和4）年度二次調査未実施エリアは、本書74ページ記載のとおりである。

一次及び二次調査の結果、長島愛生園の祖型は1930（昭和5）年の開園時に求めることができ、また、当時の建造物及び写真の一部も保存されていることが判明した。そこで、本書79ページ以降及び別紙②のとおり、保存されている最古の建物配置図（昭和6年）にこれらの情報をマッピングし、愛生園内に現存する歴史的建造物一覧（本書別紙③）との比較の材料を作成した。



II 国立療養所長島愛生園 昭和6（1931）年園内建物等の配置及び写真一覧

（神谷書庫蔵『長島愛生園昭和六年報「長島愛生園建物配置図」』）

※全ての古写真は、長島愛生園歴史館が所蔵するものである。

※古写真の多くは第二次世界大戦前に撮影されたものと推定されるが、詳細な時期は不明である。

※建物番号は、本書別紙②と一致する。以下は、本書別紙②と併せて参照されたい。

※古写真の発見に至っていない建物等の番号は以下のとおりであり、以下一覧には掲載していない。

27、31、32、37、41、42、43、44、46、47、48

※建物等の名称は、配置図による。新築年月及び構造・規模は、年報本文による。

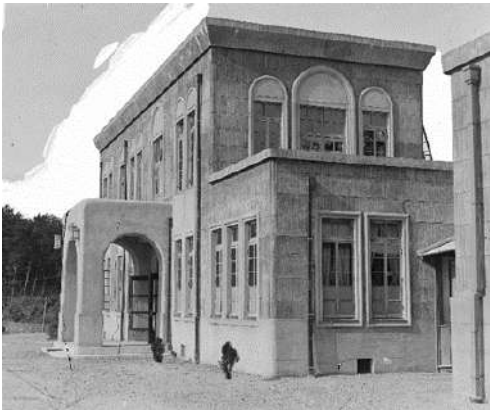
※現存する建物等の写真は、可能な限り古写真と同じアングルで撮影した。

※現存する建物は赤字で示した。

（国立療養所長島愛生園 昭和6年以前の主な出来事）

大正4（1915）年	光田健輔が内務省に「癪予防に関する意見」を提出。長島の戸数10戸、人口85人、漁業多し。
昭和2（1927）年 4月	第52回帝国議会での国立癪療養所設置予算90万円可決後、光田健輔は内務省山田衛生局長から瀬戸内海に候補地を選択するよう内命を受け出向。長島を適地として復命。
11月10日	長島内のAほか98人及び村社八幡宮、興善寺並びに等覚寺所有80,251坪を買収。
昭和3（1928）年 1月19日	島内地均工事に着手。建設工事の施工は主として内務技師松崎留吉が、現場の監督は内務技手大島義男がそれぞれ従事。
3月25日	島内患者面会所1棟竣工。
昭和4（1929）年 1月19日	島外皇子山官舎及び附属建物25棟竣工。
3月	第56回帝国議会が水道設備費18.7万円を追加で可決。
7月18日	島内工事地鎮祭挙行。
昭和5（1930）年 1月27日	水道水源池として邑久郡豊原村Bほか2名の土地612坪を買収。
5月30日	事務本館ほか8棟竣工。
8月10日	水源地官舎ほか2棟竣工。
11月20日	邑久郡裳掛村長島に国立癪療養所開設。
12月15日	医局薬局ほか25棟竣工。
昭和6（1931）年 1月26日	水道敷設工事竣工。本工事は主として内務技師河口協介が、現場監督は内務技手大西浅市がそれぞれ従事。
3月 3日	内務省告示第29号により名称を長島愛生園と決定。
3月27日	第一回患者収容（開拓患者）85名。
4月 1日	法律第五十八号「癪予防法」公布（明治四十年法律第十一号改正）
4月 5日	曙教会発足。
4月18日	長島愛生園慰安会発足。
4月21日	落ノ芽会設立。（翌年8月10日公認）
5月 1日	「患者作業心得」により入園者作業種別を甲（10銭）、乙（8銭）、丙（6銭）と定める。
6月 8日	収容患者200名を突破。
8月 5日	収容患者が定員の400名を突破。
10月	「愛生」誌創刊。

2. 建物配置図（昭和六年）記載の建物古写真一覧

	
番号 1	
名称 本館	
新築 昭和5年5月30日	
構造・規模 RC造2階一部平家建114.079坪（別途、小使室及洗面所 木造平家建13坪）	
備考 現存（平成31年国登録有形文化財）	

	
番号 2	番号 3
名称 医局薬局	名称 職員浴室
新築 昭和5年12月15日	新築 昭和5年12月15日
構造・規模 RC造平家建一部地下88.13坪	構造・規模 RC造平家建34.55坪

	
番号 4	番号 5
名称 試験室	名称 治療室
新築 昭和5年12月15日	新築 昭和5年12月15日
構造・規模 RC造平家建80坪	構造・規模 RC造平家建133.5坪



番号 6-1
 名称 金星（重病舎）
 新築 昭和5年1月25日
 構造・規模 木造平家建238.75坪(木星を含む)



番号 6-2
 名称 木星（重病舎）
 新築 昭和5年1月25日
 構造・規模 木造平家建238.75坪(金星を含む)



番号 7
 名称 解剖室
 新築 昭和5年12月15日
 構造・規模 木造平家建8坪



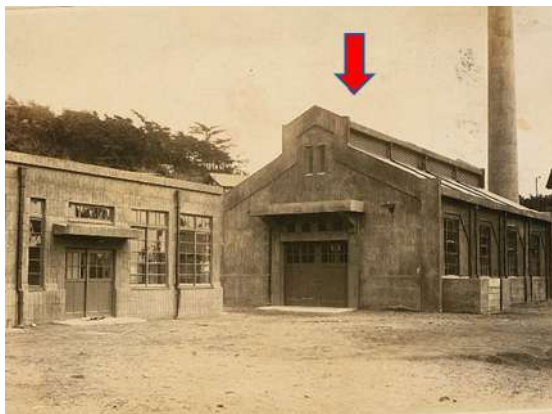
番号 8
 名称 隔離病舎
 新築 昭和5年1月25日
 構造・規模 木造平家建45.66坪



番号 9
 名称 寝具被服倉庫
 新築 昭和5年12月15日
 構造・規模 木造平家建28坪



番号 10
 名称 消毒室
 新築 昭和5年5月30日
 構造・規模 RC造平家建31.5坪



番号 11

名称 汽罐室

新築 昭和5年5月30日

構造・規模 RC造平家建65.6坪

備考 現存



番号 12

名称 雑用倉庫

新築 昭和5年12月15日

構造・規模 木造平家建20坪

番号 14

名称 禮拜堂

新築 昭和5年12月15日

構造・規模 木造平家建一部2階建149.5坪



番号 13

名称 売店

新築 昭和5年12月15日

構造・規模 木造平家建19.75坪

備考 現存



番号 15

名称 事務分館

新築 昭和5年12月15日

構造・規模 木造2階建57.541坪



番号 16

名称 裁縫室

新築 昭和5年12月15日

構造・規模 木造平家建19.5坪



番号 17

名称 洗濯室

新築 昭和5年12月15日

構造・規模 RC造平家建40坪

備考 現存（平成31年国登録有形文化財）



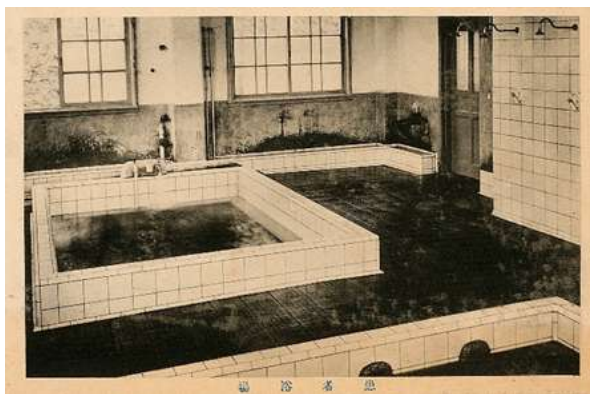
番号 18

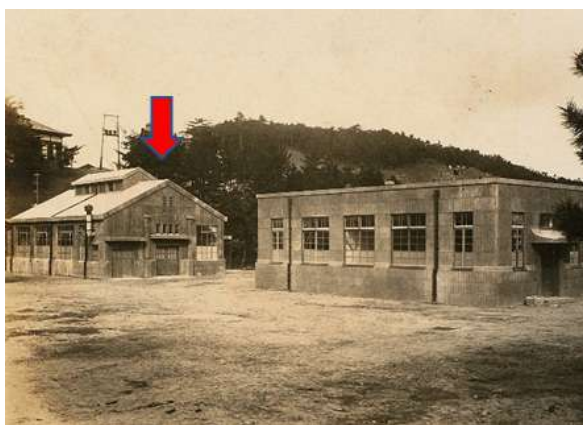
名称 男患者浴室

新築 昭和5年5月30日

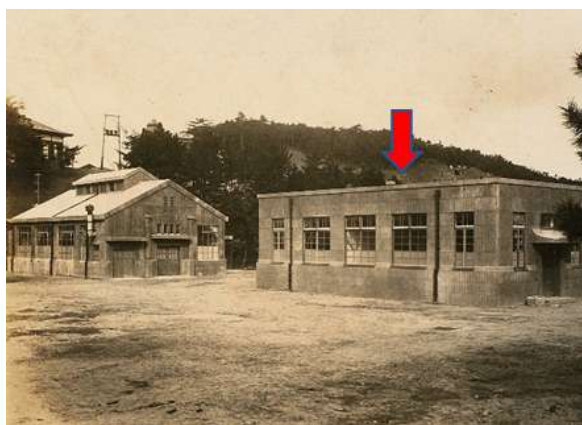
構造・規模 RC造平家建45.125坪

備考 現存（平成31年国登録有形文化財）





番号 19
名称 炊事場
新築 昭和5年5月30日
構造・規模 RC造平家建40.826坪



番号 20
名称 作業場
新築 昭和5年5月30日
構造・規模 RC造平家建30坪



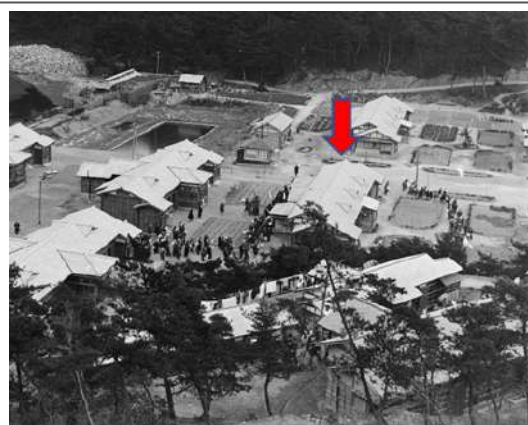
番号 21
名称 食糧倉庫
新築 昭和5年12月15日
構造・規模 木造平家建一部地下34坪



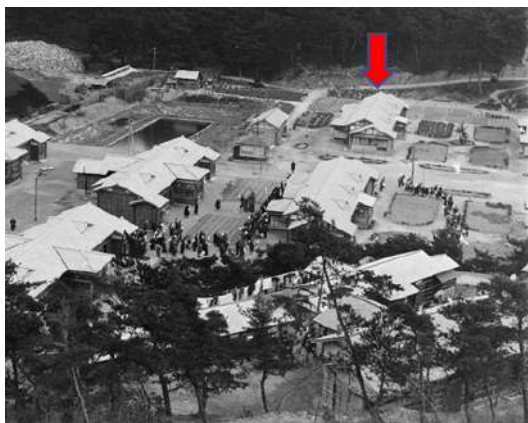
番号 22
名称 物置及漬物小屋
新築 昭和6年8月29日
構造・規模 木造平家建8坪



番号 23
名称 木工部作業場
新築 昭和6年6月24日
構造・規模 木造平家建15坪



番号 24-1
名称 はやぶさ（甲号病舎：日出）
新築 昭和5年1月25日
構造・規模 木造平家建56.75坪



番号 24-2
 名称 ひよどり（甲号病舎：日出）
 新築 昭和5年1月25日
 構造・規模 木造平家建56.75坪



番号 24-3
 名称 きじ（甲号病舎：日出）
 新築 昭和5年1月25日
 構造・規模 木造平家建56.75坪



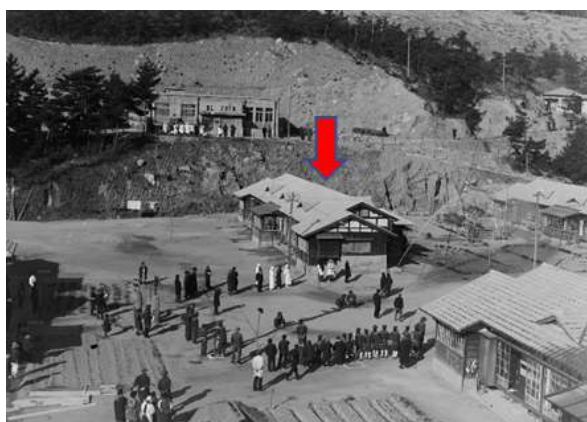
番号 24-4
 名称 つばくろ（甲号病舎：日出）
 新築 昭和5年1月25日
 構造・規模 木造平家建56.75坪



番号 24-5
 名称 やまどり（甲号病舎：日出）
 新築 昭和5年1月25日
 構造・規模 木造平家建56.75坪



番号 24-6
 名称 ほうしろ（甲号病舎：日出）
 新築 昭和5年1月25日
 構造・規模 木造平家建56.75坪



番号 24-7
 名称 さぎ（甲号病舎：日出）
 新築 昭和5年1月25日
 構造・規模 木造平家建56.75坪

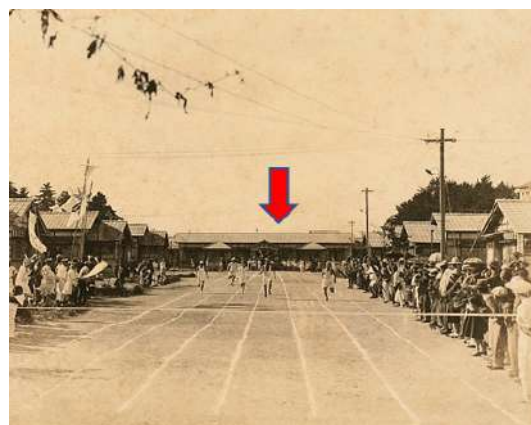


番号 24-8

名称 うずら (甲号病舎：日出)

新築 昭和5年1月25日

構造・規模 木造平家建56.75坪



番号 24-9

名称 つぐみ (甲号病舎：日出)

新築 昭和5年1月25日

構造・規模 木造平家建56.75坪

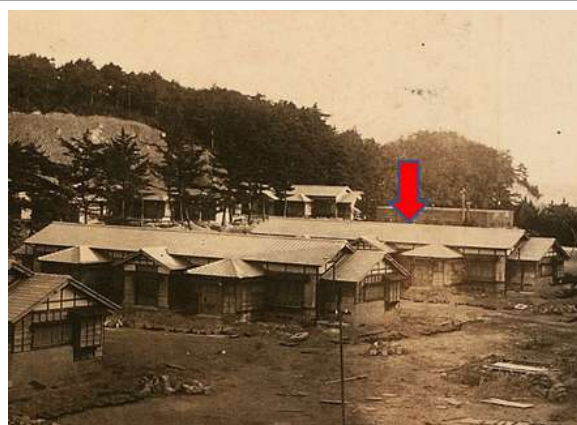


番号 24-10

名称 ちどり (甲号病舎：日出)

新築 昭和5年1月25日

構造・規模 木造平家建56.75坪



番号 24-11

名称 かもめ (甲号病舎：日出)

新築 昭和5年1月25日

構造・規模 木造平家建56.75坪



番号 24-12

名称 うぐひす (甲号病舎：日出)

新築 昭和5年1月25日

構造・規模 木造平家建56.75坪

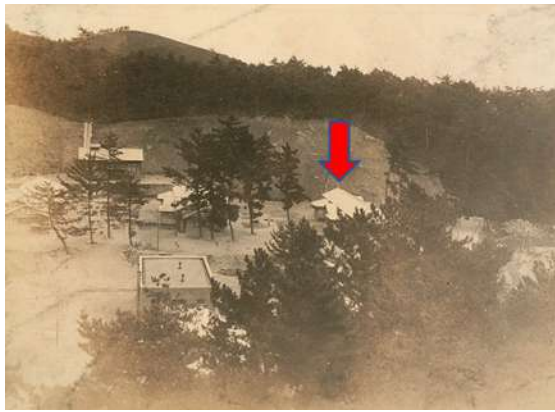


番号 24-13

名称 こまどり (甲号病舎：日出)

新築 昭和5年1月25日

構造・規模 木造平家建56.75坪

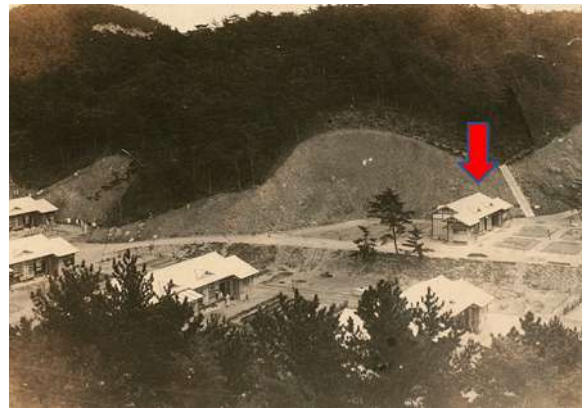


番号 24-14

名称 かなりや（甲号病舎：日出）

新築 昭和5年1月25日

構造・規模 木造平家建56.75坪



番号 24-15

名称 つる（乙号病舎：日出）

新築 昭和5年1月25日

構造・規模 木造平家建26.847坪



番号 24-16

名称 はと（甲号病舎：内白間）

新築 昭和5年1月25日

構造・規模 木造平家建56.75坪



番号 25

名称 作業事務所

新築 昭和5年12月15日

構造・規模 木造平家建4坪

備考 監視所の用途変更か？



番号 26

名称 患者女浴室

新築 昭和6年3月25日

構造・規模 木造平家建22.75坪



番号 28（写真への加工あり）

名称 （慰安会）陶工部作業場

新築 昭和8年3月31日

構造・規模 木造平家建8坪



番号 29

名称 収容所

新築 昭和5年5月30日

構造・規模 RC・木造平家建62.427坪

備考 現存（平成31年国登録有形文化財）



番号 30

名称 監禁室及謹慎室

新築 昭和5年5月30日

構造・規模 RC造平家建26.624坪

備考 西部外壁及び法面下に少なくとも二つの房が現存。



番号 33

名称 動物飼育室（重病舎西側）

新築 昭和5年12月15日

構造・規模 木造平家建4.5坪

備考 来賓見学用に、屋内設置の飼育ゲージを屋外に出した写真と推定。

番号 34

名称 動物小屋及標本室（重病舎西側）

新築 昭和5年12月15日

構造・規模 木造平家建7坪



番号 35

名称 瓦斯室

新築 昭和5年12月25日

構造・規模 鉄骨造平家建3坪



番号 36

名称 便所（計3棟。写真はつぐみ舎西側）

新築 昭和5年12月15日

構造・規模 木造平家建4.663坪×2棟,4.664坪×1棟



番号 38

名称 門衛

新築 昭和5年15月15日

構造・規模 木造平家建8坪

備考 昭和25年～外来診療所に用途変更か。



番号 39

名称 (癩予防協会)未感染児童保育所(第一楓蔭寮)

新築 昭和7年5月4日

構造・規模 木造平家建19.5坪



番号 40

名称 船員事務所

新築 昭和5年12月15日

構造・規模 木造平家建4坪

備考 監視所の用途変更か。

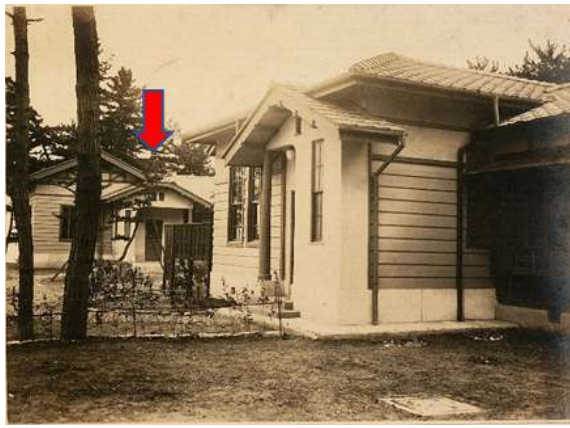


番号 49

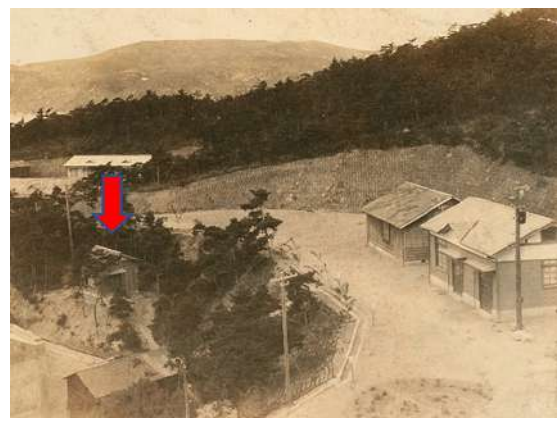
名称 事務官官舎

新築 昭和5年1月25日

構造・規模 木造平家建32.083坪



番号 45
 名称 所長官舎
 新築 昭和5年1月25日
 構造・規模 木造平家建49.25坪
 備考 現存（平成31年国登録有形文化財）



番号 50
 名称 ポンプ所

番号 51
 名称 機関士宿直室
 新築 昭和5年12月15日
 構造・規模 木造平家建4.25坪



番号 52
 名称 配水池

番号 53
 名称 船越棧橋



番号 54

名称 患者上陸場

備考 写真への加工あり



番号 55

名称 グランド



番号 56

名称 プール

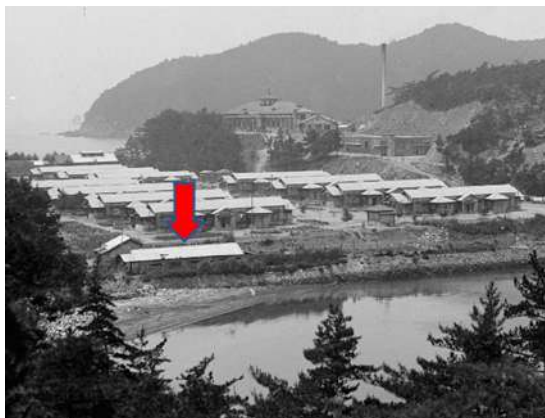


番号 58

名称 開拓患者上陸地点

上陸日 昭和6年3月27日、85名

船名 日乃出丸



番号 57

名称 (慰安会)養鶏場

新築 昭和6年9月20日

構造・規模 木造掘立16.16坪



番号 59

名称 物置 (収容所脇)

新築 不明

構造・規模 不明

Ⅲ 国立療養所長島愛生園 悉皆調査

1. エリア図（略）

2. 一次調査成果図（本書別紙①）

3. 二次調査（エリア別調査）報告

3-1. 配水池エリア（略）

3-2. 南官舎（船越駐車場を含む）エリア（略）

3-3. 北官舎（船越橋を含む）・インフラ施設エリア（略）

3-4. 内白間エリア（諸要素合計210）・・・次ページ以降

Ⅰ-1. 「本質的価値を構成する枢要の諸要素」（仮）数45件（21.4％）

Ⅰ-2-①. 「本質的価値と密接に関わる諸要素」（仮）88件（41.9％）

Ⅰ-2-②. 「その他の要素」（仮）数14件（6.7％）

Ⅱ-①. 史跡の価値に関連する諸要素（仮）0件（0％）

Ⅱ-②. 史跡周辺の環境に関連する諸要素（仮）0件（0％）

Ⅲ. 療養所運営に必要な諸要素（仮）63件（30.0％）

3-5. 納骨堂・平成公園（火葬場跡）エリア ～ 3-15. 周辺海域エリア（略）



収容棧橋と邑久長島大橋

3-4. 内白間エリア図



3-4. 内白間エリア

構成要素 4-1.患者収容栈橋

I-1.「本質的価値を構成する枢要の諸要素」（仮）の現状

	
諸要素番号 4-1-1	諸要素番号 4-1-2
名称 患者収容栈橋	名称 石積護岸
種別（仮） 遺構	種別（仮） インフラ施設

	
諸要素番号 4-1-3	諸要素番号 4-1-4
名称 平地	名称 溜場（未舗装）
種別（仮） 造成地形	種別（仮） 造成地形

I-2-①.「本質的価値と密接に関わる諸要素」（仮）の現状

	
諸要素番号 4-1-5	諸要素番号 4-1-6
名称 説明版	名称 道（舗装）
種別（仮） 利活用施設	種別（仮） 道路



諸要素番号 4-1-7

名称 開園90周年記念碑

規模（本体）h1.2m×w1.9m×d0.4m

種別（仮） 石碑



諸要素番号 4-1-8

名称 サクラ

種別（仮） 植生



諸要素番号 4-1-9

名称 土羽法面

種別（仮） 造成地形



諸要素番号 4-1-10

名称 法面シダ

種別（仮） 植生



諸要素番号 4-1-11

名称 法面花崗岩

種別（仮） 自然地形



諸要素番号 4-1-12

名称 入所者個人船舶引揚用ウインチ

種別（仮） 遺構

	
諸要素番号 4-1-13	諸要素番号 4-1-14
名称 入所者個人船舶引揚用レール	名称 万霊山を望む景観
種別（仮） 遺構	種別（仮） 視点場

I-2-②.「その他の要素」（仮）の現状


諸要素番号 4-1-15
名称 漂着ゴミ
種別（仮） 廃棄物

III.療養所運営に必要な諸要素（仮）の現状

	
諸要素番号 4-1-16	諸要素番号 4-1-17
名称 U字溝及びグレーチング蓋	名称 立入禁止サイン
種別（仮） インフラ施設	種別（仮） インフラ施設

	
諸要素番号 4-1-18	諸要素番号 4-1-19
名称 溜場（舗装）	名称 見学者日除用施設
種別（仮） 造成地形	種別（仮） 工作物

構成要素 4-2.旧收容所（回春寮）

I-1.「本質的価値を構成する枢要の諸要素」（仮）の現状

	
諸要素番号 4-2-1	諸要素番号 4-2-2
名称 旧收容所（回春寮）（建物番号：1）	名称 湧水池及び石積
種別（仮） 建造物	種別（仮） 工作物

	
諸要素番号 4-2-3	諸要素番号 4-2-4
名称 平地（未舗装）	名称 園内への石階段跡
種別（仮） 造成地形	種別（仮） 工作物



諸要素番号 4-2-5

名称 南側斜面

種別（仮） 造成地形



諸要素番号 4-2-6

名称 土羽法面

種別（仮） 造成地形



諸要素番号 4-2-7

名称 土留石垣

種別（仮） 造成地形

I-2-①.「本質的価値と密接に関わる諸要素」（仮）の現状

	
諸要素番号 4-2-8	諸要素番号 4-2-9
名称 高木	名称 タイサンボク
種別（仮） 植生	種別（仮） 植生

	
諸要素番号 4-2-10	諸要素番号 4-2-11
名称 イチョウ	名称 説明板
種別（仮） 植生	種別（仮） 利活用施設

	
諸要素番号 4-2-12	諸要素番号 4-2-13
名称 雨水枡	名称 石積縁石
種別（仮） インフラ施設	種別（仮） 工作物



諸要素番号 4-2-14

名称 間知ブロック擁壁

種別（仮） 工作物



諸要素番号 4-2-15

名称 南側斜面サクラ

種別（仮） 植生



諸要素番号 4-2-16

名称 南側斜面高木

種別（仮） 植生



諸要素番号 4-2-17

名称 南側斜面その他修景樹木

種別（仮） 植生



諸要素番号 4-2-18

名称 直望寮？跡（工作物は浄化槽か？）

種別（仮） 造成地形



諸要素番号 4-2-19

名称 南側斜面上遺物

種別（仮） 遺物



諸要素番号 4-2-20

名称 南側不明遺構

種別（仮） 遺構



諸要素番号 4-2-21

名称 南側斜面小屋

種別（仮） 建造物



諸要素番号 4-2-22

名称 初代汽缶の一部

種別（仮） 遺物



諸要素番号 4-2-23

名称 屋外水栓①

種別（仮） インフラ施設



諸要素番号 4-2-24

名称 屋外水栓②

種別（仮） インフラ施設



諸要素番号 4-2-25

名称 屋外水栓③

種別（仮） インフラ施設

I-2-②.「その他の要素」（仮）の現状



諸要素番号	4-2-26
名称	物干台
種別（仮）	遺物

III.療養所運営に必要な諸要素（仮）の現状（略）

構成要素 4-3.監房跡（略）

構成要素 4-4.寮舎跡（略）

構成要素 4-5.内白間海岸（略）

構成要素 4-6.その他（略）



撮影：写真家 西 岳海

特定非営利活動法人ハンセン病療養所世界遺産登録推進協議会

2022（令和4）年度（第6期）年次報告書

発行日 2023（令和5）年6月30日

編集・発行 特定非営利活動法人ハンセン病療養所世界遺産登録推進協議会事務局
〒701-4501 岡山県瀬戸内市邑久町虫明6539番地
長島愛生園入所者自治会役員選出委員会選挙事務所棟内
TEL.0869-24-8872 / FAX.0869-24-8873
URL. <https://www.hansen-wh.jp>



©2023 特定非営利活動法人ハンセン病療養所世界遺産登録推進協議会

※本書及び別紙A3資料の無断転載はご遠慮ください。

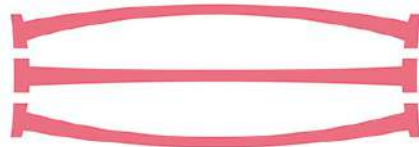
※本書掲載の「QRコード」は、株式会社デンソーウェブの登録商標です。

2018年、本法人は活動を本格化するにあたり
ロゴマークとキャッチフレーズを公募しました。
国内外から寄せられた合計565作品の中から

ロゴマーク 大森 剛 さん（デザイナー）

キャッチフレーズ 和田 裕史 さん（コピーライター）

の作品を採用しました。



Hansen's Disease Sanatoria
WORLD HERITAGE PROMOTION COUNCIL

未来につなげたい、大切な記憶

UNFORGETTABLE MEMORIES LEADING US FORWARD

ロゴマークとキャッチフレーズの詳細はホームページをご覧ください。



<https://www.hansen-wh.jp/about/>

本法人のロゴマークとキービジュアルは以下の国際デザイン賞を受賞しています。

ASIA DESIGN PRIZE (WINNER)
WOLDA – WORLDWIDE LOGO DESIGN AWARD (SILVER)
LONDON International Creative Competition (Honorable Mention)
A' DESIGN AWARD & COMPETITION (BRONZE WINNER)
Hiiibrand Awards 2020(Bronze Award)

人間は、人間を、 無かったことに してはいけない。

未来につなげたい、大切な記憶

あなたは、聞いたことがありますか？
ハンセン病という病に苦しんだ人々がいたことを。
偏見と差別にさらされ、社会から隔離された人々がいたことを。

もう誰一人として、同じ思いをしてほしくない。
だからこそ、時を越えて伝えていきたい。哀しい歴史と体験を。
そして、ハンセン病元患者の力強く生きた歩みを。

NPO法人 ハンセン病療養所世界遺産登録推進協議会は、
療養所内の建造物や貴重な資料に刻まれた大切な記憶を
未来につなげていくために生まれました。

偏見と差別のない社会こそ、ハンセン病患者の生きた証。
心の底から、そう思える日を目指して。
私たちは記憶という財産を大切に伝え続けていきます。



Hansen's Disease Sanatoria
WORLD HERITAGE PROMOTION COUNCIL

 NPO法人 ハンセン病療養所世界遺産登録推進協議会は、
過去から現在に至る偏見と差別を乗り越えるための「未来への橋」を世界に架けます。